



「北上川の洪水 洪水への備え」

開催概要

- 開催日時 令和6年7月11日(木) 14:00~15:00
- 開催場所 北上川学習交流館「あいぽーと」(一関市狐禅寺)
- 参加者 一関北消防署、一関北消防署東山分署 20名
- 講座目的 消防署管内職員の河川水防に関する知識の習熟

実施内容

今回の出前講座は、一関北消防署からの依頼で、一関市内にある北上川学習交流館「あいぽーと」にて出前講座を行いました。

まず最初に北上川の特徴を紹介し、過去に一関市内を襲った災害を振り返りながら国土交通省が進めてきた一関遊水地事業について説明しました。

次に近年の気候変動を踏まえた水災害対策として現在国土交通省が進めている「流域治水」について説明し、洪水に備えるため河川情報の入手の仕方や基準水位の考え方について説明しました。また、当事務所ホームページに掲載している「洪水氾濫シミュレーション」を実際に動かして紹介し、洪水時に川崎地区や東山地区が浸水する様子を見ていただきました。

最後に、政府広報動画「水害に備える 一人一人ができること」を見ていただき、水害時における水防活動の重要性を再認識していただきました。

参加者からは「平時における国土交通省と消防署の情報共有と、有事における国土交通省と消防署の連携について」や「国土交通省が消防署に期待すること」等の質問が出され、本講座への関心の高さを感じました。

今回の出前講座が、消防署の皆様の一助となれば幸いです。

実施状況



講義の様子



会場内に水害写真パネルを展示
(平成14年7月 台風6号 砂鉄川はん濫)